

【2019年度活動報告 号外】

## フィリピン共和国のケソン市大火災の被災者に支援の手を!!

フィリピン共和国マニラ首都圏のケソン市のスラム街で、今年の3月20日と4月30日の2度に渡って大火災が発生し、合わせて約1,300世帯の約5,000人が被害を受けました。

特に3月20日の大火災では約900世帯の約3,000人が焼け出され、その多くが家を失いました。

それから数か月が過ぎようとしていますが、未だに多くの人々が避難所などに暮らしていて、復興には程遠い状況との報告が現地からありました。

ケソン市だけでも過去に何度も大火災に見舞われていますが、その原因はマニラ首都圏のスラム街が、拾った木材で作られた住宅などが密集し重なり合っており、劣悪な環境のため、火災に弱いと言われています。

また、フィリピン各地では近年のエルニーニョ現象に伴う干ばつ被害が深刻さを増しつつあり、水不足によって、マニラ首都圏のケソン市を含む複数の都市は頻繁に続く断水による生活用水不足に陥っている状況です。

そのような中であって、一旦火災が起きてしまうと消火用水が確保できず、さらに被害を拡大させてしまっているのが現状です。

現地からの報告を受けて、FAITHは10月19日及び20日の2日間、ケソン市大火災の被災者へのボランティア活動を行うことを決定致しました。

10月15日の第21回八王子古本まつりのまちみせ横丁での売り上げは全てケソン市大火災の被災者へのボランティア活動のために使われます。

どうか皆様の厚いご支援をお願い致します。

